

会 長 〒 560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
 事務局 〒 577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
 編集室 〒 586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
 HomePage担当 〒 577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

和 7 年 7 月 (2025 年) No.715

OMC フェスティバル開催日決まる

10月5日(日) 布施 夢広場多目的ホール

第65回目となる今年の映像発表会は、上記の通り10月5日(日曜日)近鉄布施駅前にあるヴェル・ノール布施5階夢広場多目的ホールに於いて13時開場、13時30分開会を実施いたします。午前中は別のイベントで会場予約が出来なかったもので、12時45分からの準備で何かと慌ただしいかも知れませんが、初めて使用する会場ではありませんので、皆様のご協力で何とか上映に間に合わせられるものと考えて居ります。秋は何かと行事が多い時期で会場予約もままならないようです。

今年は65回という一つの節目の回でもありますので、何かいい記念になることを考えたいと岡本副会長も言っていましたが、会員諸君も考えてみて下さい。

しかし基本は良い作品を上映して観客の皆様へ、来て観て良かったと思ってもらえるような内容の濃い上映会にありますので、7月例会での撮影会コンテストも含めて、昨年に負けず劣らず、良い作品を集めてプログラム編成をしたいと思います。

一応会長が候補作を絞って幹事会に諮られますが、自薦作品も重視しますのでお申し出ください。

アマチュア映像発表会で、65回を数えるというのは、我がOMCが一番の歴史ある発表会ではないかと思えます。それだけに良い発表会にしたいものですが、観客動員数の方も最近減少傾向にありますので、是非出品者の方はそれぞれ知人、友人など呼び掛けられまして観客動員にご協力をお願い致します。



第64回 OMC 映像フェスティバル映像

- 7月例会は26日土曜日13時より。担当世話役さんは早めにお越しください
 撮影会コンテスト実施、参加者は是非出品してください、そのあと一般作品の上映をしたく思います。暑い盛りですが会場は涼しいです。皆様のご参加をお待ちしております。

訃報；西村光雄会員が6月15日朝、病院で亡くなりました。かねてより肺気腫や足腰の痛みで入退院を繰り返されていましたが、遂に帰らぬ人となり残念です。パソコンに強く、色々な人に指導されていました。氏が亡くなられてパソコンの編集に困る人が多く、相談・指導役を失ってこの世界での損失は計り知れません。

西村光雄さんは、お元気な頃、毎年のようにネパールに行かれ、ネパールの作品を数多く作っておられます。OMC例会では令和5年7月「時の停まった国ネパール」が最後でした。令和6年（2024）第64回OMC映像フェスティバルでは「ネパールふれあい紀行・タンカ」を出品されています。今年の第65回の発表会にも何か出品頂けないかと期待していたのですが・・・。

改めて、西村光雄さんのご冥福をお祈りいたします。

連絡事項；OMC映像フェスティバル・プログラム編成会議

8月2日（土曜日）13時より、河内永和の例会会場会議室にて行います。世話役のうち、作家連加入会員による幹事の皆さんは予定しておいてください。

認知症の人が少ない映像趣味人

私はマンションで、老人会のお世話をやっていますが、このところ認知症にかかった人が増えてきました。ご本人は自覚がないまま、物忘れがひどくなったり、繰り返したり、次第に周りの人が気づき始めて、結局、認知症と診断され、家族が老人ホームに入居させ、老人会活動とは縁を切るというもので、そのせいで老人会の会員数が減ってきました。

この認知症となると、映像を趣味とする私たちクラブ会員の中では、認知症になったという人はあまりいません。映像趣味人は、仲間と集い、撮影に編集に作品を作り上げるのに頭と体を使っているからだと考えます。パソコンを使いこなすだけでも相当大変ですが、今度の作品をどう纏めようかという作品構成、脚本を考えることは、ボケ防止に役立っていると思います。

今年は特に暑い日が続いております。撮影に出かけるのはしんどいですが、今までに撮影してきた素材をどう生かして作品にするか、エアコンで涼しい部屋でじっくり考えをめぐらすのも認知症予防のためにもいいのではないのでしょうか。

関ヶ原撮影会に参加された方、7月例会での撮影会コンテストに是非出品してください。

（合原）

制作と製作の違い

会長 合原一夫

皆さん常識的な事と思っておられる方が大半かと思いますが、もう一度確認しておいて損はありません。芸術家などが作る彫刻や焼き物などは、その本人が魂を込めて創作したものなので、その出来上がった物は「制作 ○○○○」と称せられます。その創作物を手本にして大量に作り上げたものは「製作 ××会社」となります。同じ「せいさく」でも使い分けています。商業映画の場合も大作となると「○○製作委員会」となって画面に撮影、編集、録音…等の関係した人の名前がずらっと並んで表示されています。商業映画の場合「制作」は原作者、脚本家になるのでしょうか。その「制作」を基に、それぞれの専門家が集まって作り上げるので「製作」となるのでしょうか。

「制作は」、作品を創るうえで作者の何らかの意思、主張、夢などが加わったオリジナリティーが入ったもの、と言えます。

こういう観点から考えると、単に舞台での演奏会や演劇、落語、踊りなどをそのまま記録した映像は、「制作」とは言わないのが常識です。著作権の問題もありますが、主催者に依頼されて撮影される場合が多いので、この場合は「撮影 ○○○」とした方が無難です。もっとも実際に記録した映像を短く編集したりして手を加えたものであれば「撮影・編集○○○」となるのでしょうか。とにかく「制作」の文字は入れないようにしましょう。

同じように、イベント物やお祭り等、単に撮ってきました、という記録ものでは、「制作 ○○○」とするより「撮影・編集」か、ゆずったとして「作・○○○」とした方が良いと思います。もっとも撮ってきた記録映像を自分なりの想いや感想等が入って自分の作品にした映像は堂々と「制作」を付けるべきでしょう。

一般的には「作 ○○○」が無難で、例会作品を拝見していても一番多いのが、この「作 ○○○」又は、「撮影・編集 ○○○」の範疇に入る作品が多いのが実状です。

「制作」された作品には確固とした著作権が発生します。全国コンテストで受賞される作品は、いずれも著作権の発生する「制作」された作品がほとんどです。

今一度「制作」の意味を考え、自分らしい、自分でこうしたものを作りたいとの思いのこもった作品創りを考えてみませんか。

6月例会レポート

今年の梅雨明けは、6月27日近畿では統計史上最も早く初めて6月の梅雨明けとなった。その翌日の28日、30度を超える猛暑の中6月例会が13時より、東大阪市立市民多目的センターにて開催された。そんな中、山口県から河口会員が今年になって初めて、作品持参で顔を見せられ、また神奈川県海老名市から、町田映像クラブ所属で「この指とまれ映像クラブ」のせいりょうさんが見えられた。合計17名の参加となった。出品作品も15本出されたが、2本が時間の都合で来月回しとなった。

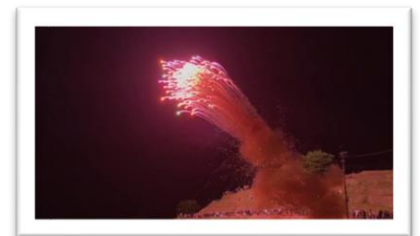
■ 運営担当：司会 植村、書記 岡本、YouTube 関係 高瀬、中川、映写 江村、坪井、記録 道下、受付照明 大久保、森下、宮崎の各氏

■ 出席者：生田、岩井、植村、江村、大久保、岡本、河口、合原、高瀬、高田、坪井、中川、道下、宮崎、森下、山本、せいりょうの17名の出席でした。

■上映作品（今月の書記は岡本氏）

1、丸山千枚田 虫おくりと北山砲 7分41秒 道下敏行
（作者コメント）

2025年6月7日三重県熊野市紀和町にある丸山千枚田で行われた「虫おくり」を撮影しました。18時より棚田にキャンドルが灯り19時より「虫おくり」20時より北山砲が2発発射されクライマックスとなります北山砲を撮影するのに、カメラ4台を使い撮影、発射角度、距離、明るさは過去に撮影された写真を元に失敗を覚悟していましたがなんとかうまく撮れました。



（書記コメント）

日本の棚田100選にも選ばれている「丸山千枚田」は、農薬が無かった時代に稲作の害虫駆

除を行い豊作を願って行われている行事である。松明と太鼓、鐘等を持って千枚田を練り歩き火と音とで害虫を追うといった素朴な行事をカメラに納められました。生憎の雨模様と夜の情景を何とか作品にされましたね。お天気が良かったらもっと良かったかもね。ナレーションが早口で聞き取りにくいところがおさめられたらよくなるのではと思いました。

のどかな里に根付いた伝統ある行事、これからも続けていってほしいものですね。拍手。

2、 能登半島チャリティーコンサート 13分00秒 高田幸夫

(作者コメント)

能登半島地震豪雨チャリティーコンサートを開催しました。コンサートの映像は退屈ですがちょっと工夫してみました。

(書記コメント)

チャリティーコンサートの模様を13分に編集されたもの。関係者のみなさんには喜ばれたことでしょう。記念になりましたね。作者の高田さん、本番でもバックに映像を映されるなどご苦労されていましたがね。お客様もバックの映像が良かったと申されていましたね。お疲れ様でした。



3. 縁の木倒れる

9分50秒 高瀬辰雄

(作者コメント)

5月24日、武信稲荷神社の榎の神木が老朽化のため倒れました。神木は樹齢850年の巨木で、坂本竜馬と妻おりょうにまつわる話から縁の木とも呼ばれていました。近所の商店街の中ほどにあるので、新聞で知り、早速撮影に行ってきました。

(書記コメント)

坂本竜馬にまつわる話が残るこの神社。作者の前作「倒木桜」に次ぐ作品になりましたね。うまくまとめられました。NHKのニュースは入れない方がよかったかもね。作品にするにはナレーションを入れた方が良かったと、私は思いました。



4. 奈良街道

9分30秒 山本正夢

(作者コメント)

京都奈良の古都を結ぶ街道には多くの歴史があり名所旧跡も多くあります。

(書記コメント)

作者お得意の「街道シリーズ」今回は奈良街道編です。京都府から伏見を経て奈良に至る

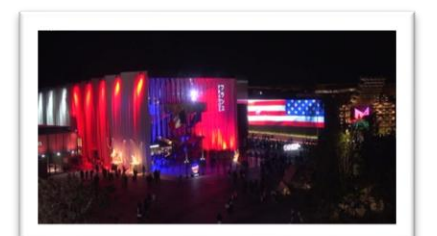
街道を一般的に「奈良街道」と呼ばれている。作者はこのルートを2日間かけての撮影行。名所旧跡がたくさん残っているのですね。それをカメラにおさめられました。よいカットがたくさんあるのですが、やはりナレーションがあればよい作品になるのではないのでしょうか。



5. 行ってきました大阪・関西万博 4分10秒 坪井仁志

(作者コメント)

万博会場にいちばん近くに住んでいるわたしですがようやく行ってきました。誰が撮っても同じような作品になってしまいますね・・・



(書記コメント)

まだ、万博会場に行っていない私ですが楽しく拝見しました。一度は行ってみたいものですね。今回の万博の目玉はなんなのでしょうかね。楽しみにしておきます。

6. 日野祭りの頃

14 分 40 秒 合原一夫

(作者コメント)

平成 15 年（2003 年）OMC 撮影会作品。滋賀県日野町の祭りは 800 年の歴史をもつ伝統ある祭りである。山車の準備から祭り本番の盛り上がりまで、撮影会作品としては内容の濃い仕上がりになったと今見ても思い出す。



(書記コメント)

22 年前の OMC 撮影会作品。私は、下見も本番も行った記憶があるが、作品がどこに消えたのか見当たらない。いずれにしても、懐かしい作品を拝見しました。22 年たってもこんな作品を見ることが出来て有難い。地方の人口減少の中で、今でも行われているのか心配です。

7. 東寺

8 分 00 秒 江村一郎

(作者コメント)

東寺は京都市にある真言宗の寺院です。東寺の象徴である五重塔は高さ 55m で日本一を誇り江戸時代初期に再建され、内部には弘法大師・空海が持ち帰った仏舎利が収められている。一部に 8 ミリフィルムで撮った映像を挿入しました。



(書記コメント)

38 年前の古い映像も入れての東寺もでてきましたが、雑踏の中の映像とかは外して「東寺」だけに絞った作品にすればよい作品になるのではと思いました。

8. なかへち音頭

5 分 15 秒 岡本至弘

(作者コメント)

このところ、編集機の最新版に買い替えたため編集が思うようにいかず、作品作りが進んでいません。そこで、20 年前の作品です。郷土の歌に、撮りためた絵面をつけた歌謡映画です。



9. 古代出雲の謎

8 分 29 秒 河口禮志

(作者コメント)

地元（山口県）の人形浄瑠璃保存会の仲間と島根県出雲を訪れた。その際、荒神谷遺跡と呼ばれる遺跡に立ち寄った。かつて、青銅器である銅剣と銅鐸・銅矛が地中から大量に発見されたことで有名になった。誰が、何のために埋めたのか疑問が残る。



(書記コメント)

作者が新婚時代を過ごした土地で、銅剣 358 点、銅鐸 6 点、銅矛 16 点が見つかりその謎に迫るという作品ですが、その謎が解けぬまま終わった。謎が解ければ続編を期待しています。

新婚時代の画面に現在の日付でしたので削除しますとのことでした。

10. 九度山・町家の雛人形&鉄砲隊 13 分 44 秒 中川良三

(作者コメント)

九度山の真田まつりに出かけてみた。まちには雛飾りが各家で飾っていた、しかし扉のしまっている家が多く窓ガラス越しにしか撮影できなく残念であった。真田まつりのイベントは火縄銃、発射音に迫力があり今更ながら驚いた次第です。



(書記コメント)

真田まつりは、戦国の波乱に満ちた真田昌幸・幸村父子を偲んで古くから行われているお祭りです。私も6年前に撮影しました。メインの2日目の武者行列がないのが寂しいですね。雛人形は、年中飾っていると思いますので、雛人形と真田まつりは、切り離してまとめられた方がいいかもです。雛人形の造形作家の新山さんのお話は、もっと長めに入れられた方がいいですね。鉄砲隊の所は、迫力がありますね。2日目の武者修行と合わせればよい作品になると思いますよ。来年挑戦してみてください。

11. 関ヶ原 2分45秒 生田幸靖

(作者コメント)

今年5月に行われた OMC 撮影会作品です。

(書記コメント)

撮影会作品のコンテストは、7月例会です。早々ともってこられましたね。作者は、1日だけの撮影でしたが、短編にうまく纏められましたね。7月例会に再編集して出してくださいね。



12. 諏訪湖安曇野サイクリング 9分50秒 高田幸夫

(作者コメント)

風馨る五月、仲間と共に信州路をサイクリングしてきました。

(書記コメント)

作者のもう一つの趣味の「サイクリングツアーの会」の様子をまとめたもの。風薫る季節に仲間十数名でのサイクリング。信州路の諏訪湖一周から安曇野へ楽しい2泊3日のサイクリングツアーでした。撮影しながらのサイクリングお疲れ様でした。楽しく拝見しました。



13. 東京スケッチ 10分50秒 高瀬辰雄

(作者コメント)

作家連の東京総会に参加した折、東京の街を撮影。東京駅、浅草、東京湾の3ヵ所をまとめてみました。あいにくの小雨模様で東京の風景がくすんでいます。

(書記コメント)

6月に行われた「日本アマチュア映像作家連盟の東京総会」に参加された時の映像です。東京駅、浅草、東京湾クルージングをまとめられたもの。最初のスローモーション撮影はなんの意味があるのでしょうか。生憎の雨模様の中お疲れ様でした。下記の2作品が時間の都合で次回送りとなりました。



○東京 8分00秒 江村一郎 ○幻の池とモリアオガエル 5分37秒 道下敏行